

原文

器械製糸生産の発展の時期について誤解するおそれのある表現である。

1894 年ころに簡易^{かんい}な器械製糸①による小工場生産が長野や山梨を中心に発展した。織物業でも綿糸や生糸を織る力織機^{りきしょつき}が導入され、生産を増やしていった。

修正文

日清戦争のころから、関東を中心とした簡易^{かんい}な器械製糸^{きかいせいし}①による小工場生産が、座繰製糸を上回るようになった。織物業でも綿糸や生糸を織る力織機^{りきしょつき}が導入され、生産を増やしていった。